

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	みやざきチャイルドセンター			
○保護者評価実施期間	2025年 11月 12日 ～ 2025年 12月 12日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	33	(回答者数)	28
○従業者評価実施期間	2025年 11月 12日 ～ 2025年 12月 12日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	25	(回答者数)	23
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 29日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多職種・専門職の視点を取り入れ こどもの特性に応じた支援を実施している	特性カンファレンスや検討会、活動立案業務に専門職の 関与があることで、多職種・専門職の視点が実際の支援 内容に日常的に反映しやすい環境が整っている。	専門職の支援モデルや成功事例の言語化、映像化での 共有を進め、支援の再現性を高めることで、組織全体 の専門性の強化を目指していきたい。
2	支援の実践において チームでの共有と連携が定着している	ICTツール等も活用しながら、全体が均一に支援内容や 目標の把握、評価の基準を把握できる環境を整えてい る。支援後は振り返りも行い、各自の支援状況の共有を 行っている。	与えられたものを活かす共有型から「どう動き、どう 環境を構成するか」「次の支援はどうすべきか」とい う改善型に構造を転換していきたい。
3	研修やマニュアルを活用し 支援の質向上、安全管理等に組織的に取り組んでいる	安全管理に関する研修のほか、初任者研修、中堅者研 修、実践研修など支援の質の向上を図るための研修を定 期的に実施している。	実践型の研修やロールプレイ等を充実させ、緊急時対 応力の向上を図るとともに、組織全体として継続的に 支援の質を高めていく体制づくりを進めていきたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	分散化の判断や対応を均一に実施すること	これまでの経験の差や役割により、判断基準や対応方法 の整理に個人差が生じやすく、臨機応変さが求められる 現場で均一に実施することがまだ難しいため。	現在行っている移動時や活動時の安全確保、行動予測 に関する考え方を引き続き研修等で共通化し、対応の 均一化を図る。
2	高難易度業務において 属人化や負担の偏りが生じやすい。	一定の経験や知識を要するため、担当に偏りが生じてし まう。また日常業務と重なることで、負担が増大しやす い。	積極的にICT機器、生成AI等を活用することで、日常業 務の省工ネ化、負担軽減を図る。
3	インシデント等の情報は蓄積されているが、分析改善へ つなげる仕組みが不十分である。	日々の支援の振り返りで共有はしているものの、記録や インシデントを全体で検討する機会が明確に定められて おらず、十分に活かしかれていない。	蓄積された情報を定期的に検討し、支援方法や安全管 理の見直しにつなげる仕組みを構築する。

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名		みやぎきチャイルドセンター				公表日	2025年 2月 28日	
						利用児童数	33	回収数 28
		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	26	2	0	0	・廊下がもう少し広いと、歩行器訓練などにより良いのかなとは思いますが。	・貴重なご意見ありがとうございます。限られた場所の中で大変恐縮ですが、できる限りの工夫をしながら今後も歩行訓練等に取り組んでまいりたいと思います。今後もご意見がありましたら、お気軽にお寄せください。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	28	0	0	0		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	28	0	0	0		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	28	0	0	0	・とてもきれいな空間で過ごさせていただき有難いです。 ・いつも綺麗に整理整頓され、お迎えの時も、室内やバスの清掃しているところをよく見かけます。清潔に整えてくださり、ありがとうございます。	大変ありがたいお言葉をありがとうございます。お子さま方が常に清潔な環境で過ごせるように、今後とも職員一同取り組んでまいります。
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	27	1	0	0		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	28	0	0	0		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	27	1	0	0		
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	28	0	0	0		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	28	0	0	0		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	28	0	0	0		
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	27	1	0	0		
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	27	1	0	0		
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	28	0	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	27	0	0	1	・具体的な関わり方など、大変勉強になりました。 ・内容がわかりやすく日常生活で生かされています。	大変ありがたいお言葉をありがとうございます。今後も、保護者の皆さまにとって実践しやすく、役立つ支援や情報提供を心がけてまいります。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	28	0	0	0	・日々の記録がしっかり丁寧に書いてくださっているのが毎日の楽しみになっています💖 ・丁寧な連絡帳に、いつも感謝しています。給食の面も、おかわりした物や量を細かく教えてくださり嬉しく思います。	大変ありがたいお言葉をありがとうございます。記録については前年度にご意見を頂いて、改善した内容となっておりますので、ご評価頂けて安堵しているところです。今後もお子さまの様子を分かりやすくお伝えできるよう、丁寧な記載を心がけてまいります。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	26	2	0	0	・必要に応じて困りごとに相談を開催していただいている。	大変ありがたいお言葉をありがとうございます。今後も、必要に応じて個別のご相談の機会を大切にしながら、安心してお話しいただける環境づくりに努めてまいります。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	28	0	0	0	・とても親身になって可愛がってくれていると感じます！	大変ありがたいお言葉をありがとうございます。お子さまだけでなく、保護者の皆さま方が安心してお預け頂けますよう、これからもご家族に寄り添った関わりを大切にしております。

		チェック項目	はい	どちら ともい えない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	19	7	0	2	・ 具体的な関わり方など、大変勉強になりました。 ・ 内容がわかりやすく日常生活で生かせてます。	大変ありがたい言葉をありがとうございます。今年度は初めてのペアレントトレーニング連続開催となりました。今後も、生活に結びつく支援や情報提供を心がけてまいります。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	27	1	0	0		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	28	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	28	0	0	0		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	28	0	0	0		
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	27	0	0	1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	27	0	0	1		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	28	0	0	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	25	0	0	3	・ 小さな傷でも伝えてくれるので、安心して預けられています。	大変ありがたい言葉をありがとうございます。その日の出来事はその日の内にお伝えするように心がけているところですが、ありがたい感想に慢心せず、今後も改善を重ねてまいりたいと思います。今後もご意見がありましたら、お気軽にお寄せください。
満 足 度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	28	0	0	0	・ 毎朝、嫌がらず、笑顔でバスに乗ってくれるので助かってます。	大変ありがたい言葉をありがとうございます。お子さまが笑顔で通所されている様子を伺い、私たちも大変嬉しく思います。これからも安心して一日をスタートできるよう、関わりを大切にしていまいります。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	26	2	0	0	・ お迎えに行くと、まだ遊びたそうにしているので、毎日楽しんでと思います。 ・ めちゃくちゃ楽しみにしています！	大変ありがたい言葉をありがとうございます。毎日楽しく過ごされている様子が伝わり、私たちの励みになります。より一層お子さま一人ひとりが安心して「楽しい」と感じられる関わりや環境づくりに努めてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	28	0	0	0	・ もっと利用する日が増えると非常に嬉しいです！ ・ バスの先生も含め、スタッフの皆さんが、優しく丁寧に関わってください、とても感謝しています。 ・ いつも本当にありがとうございます ・ 通えたのがチャイルドセンターさんで本当に良かったです！	大変ありがたい言葉をありがとうございます。そのような感じていただけることを励みに、これからも職員一同、丁寧な支援に努めてまいります。「日数を増やしたい」というご要望についても継続的に調整中ではございますが、現在ご要望が大変多くなっております。可能な限りご要望に添えるよう、誠心誠意対応してまいりますので、また何かご要望がございましたら、いつでもお声がけください。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		みやざきチャイルドセンター		公表日			2025年 2月 28日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	21	2	・マット等を用いて空間を仕切るなどしている。 ・リハビリの職員に対してお部屋が足りない。部屋が空くタイミングなど、早めに声をかけてすぐに交代できるように意識している。 ・テーブルの配置を考慮し、児童が取り組みやすい環境設定を行うように気をつけている。			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	23	0	・担当職員以外に、お手伝いに入ってくれる先生もいらっしゃるので対応をお願いします。 ・お休みの子どもや職員が出たときには必要に応じて調整している。	・うまく分散して、移動や安全管理を行えるようにするスキルアップや、子どもたちの動きを予測して対策をその都度アップデートさせるスキルが、より職員間で底上げできると良い。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	23	0	・その都度全入れ替えにはなるが、一空間一活動になるようにして活動内容が空間でわかりやすく構造化されている。 ・必要に応じてマットを使い、空間を分かりやすく分けている。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	23	0	・毎日の清掃では掃除機に加え、毎日拭きあげている。 ・製作活動はテーブルの配置を考慮したり、ハサミを使用する際は、作業の見守り、補助が適切にできるように、状況に合わせて、数人に分けて取り組むように気をつけています。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	22	1	・保健室があるため、リハビリを始めとして個別使用している。	・どうしても難しいと思うが、オンライン研修を受講する際に場所がなく倉庫で受講されていることもあるため、気になっている。		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	22	1	・定型文に沿って、おこった出来ごと、支援の仕方、その後の結果を伝え、職員間で共有している。 ・子ども一人一人に合わせた目標が設定、また評価が出来るように工夫しています	・ check.actionの部分は経験の差も大きいかなと思っている。研修などを通じてより底上げできるようになるとよい。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	23	0	・アンケートの回答が集計できた時点で、すぐに対応できる所から取り組むようにしている。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	23	0	・お昼の申し送り時に話ができるようにしている。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	14	9				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	23	0	・初任者研修、中堅研修、実践研修は施設内で、また、外部の研修も紹介がある。			
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	23	0				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	23	0	・特性カンファレンスに可能な限りの職員が参加している。 ・聞き取りに加え、kidsも活用している。			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	23	0	・こどもたちの支援の仕方について、職員間で共有をはかっている。			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	23	0	・カンファを通して支援策などを下ろしていき、共通して取り組めるようにしている			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	23	0	・ kidsを活用中			

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	23	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	23	0	・担当の先生方が立てたものをOTの視点でも見るようにしている。 ・立案した内容で不明な点は確認を行い、職員間で共有するように心がけている。 ・かざられた人数での療育を考える中、偏りがないようには気をつけてます立てている。	・療育プログラムを、立案する先生方が較られているのでどうしても業務が圧迫されてしまい大変な部分があるのではないかと考えている。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	23	0	・こども達の様子をみながら、療育の内容を検討している ・前の月に使った玩具を表で管理しているが時には同じ物を続けて、だすこともある。制作は年間で、決めて、大型作品も運動会に使えるように計画を立ててる ・必要に応じて、リハの視点を入れてくれている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	23	0	・リハと集団療育の内容を盛り込んでいる。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	23	0	・活動中の環境設定、職員配置、移動する際のこども達の順番などを分担し、状況に合わせて、柔軟に対応していくようにしている。また、声かけや見守りのみにならないようにとつきに起き得ることに対応できるよう、気をつけている。	・制作活動のとき、基本的に見本を用意するようにしているが、時折見本がなく文字だけでは工程が分かりにくいことがある。 ・やりましょう、ということによって促しているが、バスの添乗などもあり、毎回確実にできているわけではないと思う。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	23	0	・午睡の時間にそれぞれのグループから情報共有をしており、その日出動していなかった職員も後日ノートをみて情報共有できるようにしています。 ・午睡の時間を活用して振り返りの時間を設けている ・支援の仕方が適切でなかった時も、次はどのように支援をおこなっていくか、話しあうことや支援の仕方が良かったことも共有している ・支援に対する結果を報告して、次につなげられるように変更している。	・報告会になり、改善案や支援策のアップデートにつながるような振り返りになるといいなと思います。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	23	0		・記録には記載しているが、記録内容を振り返る機会が少ないと感じています。難しかったことができた時などに日誌にも特記として記載し職員間でも共有しているが、現状カンファレンスの日中で検討する機会がないため支援の改善に繋がりにくいのではないと感じています。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	23	0	・細かなことも記録して、他の職員も把握しやすいようにしている。	
関係機関や保護者と	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	23	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	23	0		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	23	0	・通園モニタリングを実施している	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	23	0	・就学予定先の地域の小学校や特別支援学校に連絡を事前に取り、必要に応じて電話や来園して頂き情報共有を進めている。また、引き継ぎシートやバトナタッチ連絡会などの機会も活用している	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	21	1	・療育等支援の活用。	
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外泊研修に参加させているか。	23	0	・療育等支援の実施	

の連携	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	23	0		
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	23	0	・ 同法人のこども園との交流会を実施しています。 ・ 施設交流がある	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	23	0	・ 一日の様子を話すようにしています。	
保護者への説明等	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	23	0	・ 親子イベントを活用して、ペアトレを2回実施した ・ 今年、行えて良かったと思う	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	23	0		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	23	0	・ 保護者の気持ちを引き出せるように質問の仕方などを変えている。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	23	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	23	0	・ 必要に応じて定期外の面談も組んでいる ・ ちょっとしたことでも、送迎時やお帳面で返事をしている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	22	1	・ 親子イベントの機会に、兄弟児さんも受け入れている ・ ファミサポの際の席の配置を考慮している。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	23	0	・ 迅速に報告、対策を立てて保護者様にも説明し、職員間でも口頭での伝達に加え、伝達用ノートなどを活用して伝達漏れがなく、みんなで共通支援ができるよう気をつけている ・ 日程を合わせ、面談を行っている	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	23	0	・ チャイルドだよりやリハだよりで分かりやすいにしている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	23	0		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	23	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	16	7		・ 夕方の時間を利用して地域の方や利用検討している方向けの行事(あそび体験会や給食試食会など)があるとよいのではないかと思います。また近隣の方にどんなことを行っているのか、どんなお子様が利用しているのか知ってもらうことで災害時などに安心できるのではないかと思います。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	23	0		

非常時等の対応	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	23	0	・今年度BCP研修を実施しました。	・センターの前が道路ということもあり、安全を確保するため室内のみの避難訓練となっているが、消防署に依頼して現在の訓練を見ていただいたり、子どもたちに向けてお話をさせていただく機会があるのではないかと思います。特に地震や津波を想定した訓練ではバスに乗り込んで避難することを想定して行っていますが、バスの使用が難しいことをあと思うので、歩行での避難を想定した訓練も今後定期的に行うと良いのではないかとおもいます。（おんぶ紐の使用や限られた職員の人数でどのように子どもたちを誘導するのかなど）
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	23	0	・一覧表を作っている。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	23	0		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	23	0		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	23	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	23	0	・お昼の申し送りの際にも報告するようにしている。	・振り返りを活用し、対策を共有しているが、溜まったデータの分析などはまだ運用できていない ・インシデントをあげるが伝達でもインシデントをあげたことを発信し、インシデントの確認をした方が良いと思う。全員周知ができていない。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	23	0		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	23	0		